

第74回通常総代会に対するご意見・ご質問と回答

第1号議案 2022年度事業報告及び決算報告の承認並びに監査報告について
(ご質問)

1. 短期借入金のうち、みちのく銀行の分について、2022年度の返済がないが短期に分類している理由は何か。

…(東青支部総代)

(回答)

・短期借入金のみちのく銀行と青森銀行は、限度額を定め、その限度額内で借入れできます。返済も生協側の自由になっており、長期借入金のように毎月返済が発生するものではありません。よって、短期借入金で処理しています。

(ご質問)

2. アクアクララに関して、加盟金25万円以上の収益はあるのか。

…(三八支部総代)

(回答)

・2022年度のアクアクララの売上は4,312千円で、粗利益は2,793千円でした。
(2023年3月時点での利用登録者は82名です。)

(ご質問)

3. 総代会議案書の印刷代はいくらか。契約業者が固定され随意契約になっていないか。

…(三八総代)

(回答)

・議案書の印刷代は138,600円(単価308円)です。毎年同様の仕様で格安で対応してもらえることから、同業者に依頼しています。

(ご質問)

4. 役員の委員会活動の内容を知りたい。

…(一項OB総代)

(回答)

・2022年度はコロナ禍の影響もあり役員の委員会活動はほぼありませんでした。

(ご質問)

5. 職員数がかなり減っているが補充はしないのか。残業は増えていないのか。

…(一項OB総代)

(回答)

・職員の補充については、募集してもなかなか応募がないというのが現状です。結

果として人員不足になっている部門は残業が増えているところもありますが、シフトの変更や業務内容の見直しで対応しています。今後も人員確保に向けて募集を継続していきます。

(ご質問)

6. 黒石店の供給高が前年比120.5%と伸びているが要因はどのように分析しているのか。

…(一項OB総代)

(回答)

・個別職員の利用はほぼ増減がありませんでしたが、作業服・長靴・宅配取次など公所の利用が前年と比べ増えたことが要因と考えられます。

(ご質問)

7. 雑損失について、いろいろ努力しているとは思いますが、商品期限切れによるロス・現金過不足他は増えている。どのように評価しているか。

…(一項OB総代)

(回答)

・値引き・廃棄に関しては基準を設けて徹底させるようにはしていますが、結果として廃棄ロスが前年より若干増えてしまいました。2023年度は適正な仕入管理によってロスや廃棄、過不足を抑制するよう努めます。

(ご意見)

8. コロナ禍の中、事業に対する工夫や苦勞がなかなか反映されないことにはがゆい思いがある。職員の努力が見られる報告となっている。

…(西北支部総代)

(回答)

・ご意見のように、産業技術センター各研究所の参観デーや各種イベントの自粛により組合員と対面する機会が少なくなりました。今後はコロナ規制の緩和に伴いさらに工夫して組合員からの要望に応えられるよう努めます。

(ご意見)

9. 通常総代会の開催告知が遅い。

…(病院支部総代)

(回答)

・5月1日付でホームページや機関紙、また各売店の店頭にて開催の告知をしておりますが、移動訪問販売時などで少しでも早くお知らせできるよう努めます。

(ご意見)

10. 巡回職員増でOBの利用促進に努めているようだが、できればいつ・どの地域・店舗を巡回するのか、月間計画のようなものがOB組合員にも伝わるようにしてほしい。事前に商品チラシなど届いていればもっといい。

…(一項OB総代)

(回答)

・外販課の職員については2023年度から再び2名体制に戻っています。現状の人員でできる限りやれることを検討していきたいと思えます。

第2号議案 2022年度剰余金処分(案)について

(ご質問)

1. 剰余金処分量の別途積立金5,000,000円の使用目的と期間を明らかにしてほしい。

…(一項OB総代)

(回答)

・任意積立金のうち、使用目的をもって積立てるものを「目的積立金」と言います。当生協では「システム整備等積立金」や「設備投資準備金」等がこれにあたります。ご質問の「別途積立金」は特定の目的を持たない積立金です。目的積立金が不足する場合や目的積立金以外に資金が必要になった場合に取り崩すことになります。また、損失金が発生した場合の取崩し順位も一番先になります。よって使用期間に定めはありません。

(ご意見)

2. 出資配当金の配当率を0.5%にすべき。(物価高騰に配慮し配当率を引き上げるべき。

…(東青支部総代)

(回答)

・出資配当については、このコロナ禍で市井の金融機関が0.1%を下回る預金利率の中で、当生協が高利率を設定することは好ましくないという考えによるものです。(投資目的の出資金積み増しを避けるためでもあります。)

第3号議案 2023年度事業計画及び予算(案)について

1. 損益予算の物件費の内訳で、研修採用費(前年比785.7%)・会議費(同536.2%)と計上しているのはなぜか。特に会議費については目的を示してほしい。
…(一項目OB総代)

(回答)

・コロナの感染法上の分類が5類へ移行し、2023年度は研修や会議もコロナ禍前のように実施するものと見込んでの計上です。会議費は生協の全国組織総会や各種委員会への参加、加えて2023年度は全国府県庁生協連絡協議会の総会当番県が本県となっており、10月に青森市内で開催されることなどを見込んでいます。

(ご意見)

2. 食堂の利用者が増加する手法をもう一度考えないといけない。
…(西北支部総代)

(回答)

・食堂の運営については現在営業を継続している弘前・八戸・むつすべて赤字となっており、今般の物価高騰を考慮すると改善が難しい状況となっています。これまで食堂改善委員会を立ち上げ、メニューや価格、人員配置などを検討してきましたが、経営状況の改善はかなわず、やむなく五所川原・十和田の食堂を閉店したところです。

今のところ食堂を閉店した合庁については、できるだけ多種のお弁当を手配し昼食サービスの補完に努めており、幸い重大なクレームなどは寄せられておりません。

今後も組合員に温かい食事を提供すべく引き続き工夫してまいりますので、周囲の方にお声がけするなど食堂の利用についてよろしくお願ひいたします。

(ご意見)

3. 生協を取り巻く情勢において、現岸田自民公明政権の大増税・大運転を進め、戦争する国家づくり路線に反対する立場を明らかにして、組合員・利用者を守る意思を総代会の名において示すべき。
…(一項目OB総代)

(回答)

・当生協はあくまでも組合員の福利厚生サービスを目的として組織されたものです。しかしながら、戦争は全ての国民が望むところではないことから、母体である労働組合(県職労・自治労)と協力しながら福利厚生面で組合員を支えていきたいと考えます。